

著書タイトル 胃がんX線検診における  
読影基準の設定に関する考察

下記の箇所に誤字，脱字の訂正がありましたので，深くお詫び致します。  
正誤箇所と訂正文は，以下の如くです。

P5 第3章 . . . . .

(誤) 胃癌の肉眼形態を基本にその特徴をいくつかに集約し，類型化

(正) 胃癌の肉眼形態を基本にその特徴をいくつかに集約し，いくつかに類型化

P40 表.5.15 肉眼的な“異型度”の定義とその根拠

(誤) 肉眼的な“異型度”とは，. . . . .“かけ離れ”である

(正) 肉眼的な“異型度”とは，. . . . .“かけ離れの程度”である

(誤) 1，2より，肉眼的な. . . . .“かけ離れ”に求められる。

(正) 1，2より，肉眼的な. . . . .“かけ離れの程度”に求められる。

P64 図 7.18 進行癌類似早期癌（その2，2型様）

症例説明文 (誤) 組織診断は2型(ul-2),tub1,sm3,36x25mm

(正) 組織診断は2型(ul-2),tub1,sm 2,36x25mm

P88. 表 8.5 のタイトル

(誤) 未分化型癌と分化型癌の臨床病理学的差異（その2）

(正) 未分化型癌と分化型癌の臨床病理学的差異（その2）

—術後5年生存率—

P88. 本文 表 8.4，表 8.5 に示すように . . . . .

(誤) 転移巣の形態といった臨床病理学的な

(正) 転移巣の形態，予後（術後5年生存率）といった臨床病理学的な

P120 9.6 癌組織型を考慮した早期癌の肉眼的な“異型度”における位置づけ

9.6 項の本文 17 行目 (誤) な方へその判定~~水準~~が~~移動~~する

(正) な方へその判定~~水準~~が~~移行~~する

24 行目 (誤) 微細な所見に対する~~画像~~認識

(正) 微細な所見に対する~~画像~~認識

P148 本文 2～3 行目

(誤) すなわち、カテゴリⅢ以上が精査検査すなわち“要精査”の対象となる.

(正) すなわち、カテゴリⅢ以上が~~精査検査すなわち~~“要精査”の対象となる.

P167 図 11.8.のタイトル

(誤) 図 11.8.組織学的なスキルス胃癌における 4 型胃癌と LP 型胃癌の包含関係.

(正) 図 11.8.組織学的なスキルス胃癌における 4 型胃癌と LP 型胃癌の包含関係, 中村 (恭)<sup>2</sup>

<sup>1)</sup>による